

医学界との共同開発で医師ニーズを具現化 グローバル社員の採用で海外市場を開拓

医療機器の製造・販売も行う医療専門総合商社。約50年前に医療用消耗品等を販売する商社として創業し、1985年からは脳神経外科用の医療機器の製品開発、製造・販売も開始。現在では、国内シェア34%と高評価を得ている。さらに、医学界と共同研究開発を手掛けるなどにより、医師のニーズの把握に努め、脳神経外科以外の新分野への事業展開も図っている。また、新たに市場開拓部を立ち上げ外国人材を登用するなど、海外展開も積極的に進めている。

- 所在地 東京都文京区本郷3丁目6番1号
- 電話/FAX 03-3815-8810/03-3815-7620
- URL <http://www.fujitaika.co.jp/>
- 代表者 代表取締役 前多 宏信

- 設立 1972年
- 資本金 7,900万円
- 従業員数 75人



需要獲得

顧客ニーズに的確に対応して領域を拡大する精密医療機器開発

1mm以下の高精度が求められる脳神経外科分野において、医師や大学等と連携しながら、医師医療機器を開発・製造している。標準品に加え、各医師の個別ニーズやアイデアにもきめ細かく対応することにより、高い評価と信頼を得ている。医療機器市場には、医療分野毎の高い専門性というハードルがあるが、脳神経外科分野で培ってきた人的ネットワークを活用して、2015年から脳神経外科以外の分野に事業展開を開始し、既に大腸肛門外科や救急救命、リハビリ等の分野で製品開発成果をあげている。



スマートデバイス対応型医療機器

機器開発に向けた協力企業等との幅広いネットワーク形成

同社は、販売する医療機器の製造や安全性試験については協業企業に外注して実施するファブレス企業である。医療機器関係の集積地として有名な東京都文京区本郷にある30社以上の地域企業と常に取り引を行う等、地域経済の盛り上げ役という顔も有する。こうした、創業以来蓄積した全国の医師、医療機関、大学、ものづくり企業、産業支援機関等とのネットワークを活用して、協業・連携することにより、他社・他組織の優れた技術・知見も活用した医療機器開発のオープンイノベーションに取り組んでいる。



AMED医工連携事業化推進事業開発風景

海外ニーズを的確に捉えた本格的な海外展開も開始

海外展開を見据えた市場調査を2017年に終了し、2018年に市場開拓部を新設し、外国人社員を2名登用して、海外展開を本格的に開始している。医療機器の海外展開においては、各国の薬事規制への対応が重要であるので、社長が自ら現地に赴き、現地の状況を確認した上で、参加する展示会や学会等を決定し、情報収集している。現在は、東南アジアや欧州、アメリカ、ロシア等の展示会や国際学会に参加しているが、既に、いくつかの案件で共同研究の引き合い等を得ている。



海外人材の登用と海外展示会への参加

ものづくり